

【2022年卒 就職活動TOPIC】 活動開始時期による就職活動の違いは？

前年と比べ10月以降に活動開始した学生の内定率の進みが遅い傾向

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘）のよりよい就職・採用のあり方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

周囲の状況が見えない不安もあるが焦らず、準備に集中しよう



所長 増本 全

今回は活動開始時期による就職活動の違いに注目し分析しました。就職活動の開始時期を聞くと約6割が「大学3年生9月以前に就職活動を開始」という傾向は前年と変わりませんが、前年と比べ+2.1ポイントと、微増しました。4月1日時点の就職内定率※1を前年と比べると「9月以前に開始」は38.2%(-0.3ポイント)※2と同水準なものの「10月以降に開始」は13.6%(-9.5ポイント)と前年との差が見られました。また各活動の実施率を前年と比べると「9月以前に開始」、「10月以降に開始」どちらの学生においても「インターンシップに参加した」で大きく減少している様子が見られます。また、特に「10月以降に開始」の学生においては、各活動の実施率が低く、選考の進みが遅い様子が見受けられます。学生の不安を見ると開始時期にかかわらず「大学のオンライン授業や外出自粛で、周囲の就活生の様子が分からない」で高くなっており、特に「10月以降に開始」では、「就職活動の段取りや進め方をどうすれば良いか分からず不安を感じる」が最も高くなっています。学生のコメントを見ても「みんながどういう活動をしているのか分からない」「自分の活動が遅れているのか判断しにくい」という声が挙がっています。周りの活動が見えないが故に自分がどう活動していいか分からなくなり、その結果自信が持てず一歩踏み出せないように見受けられます。ただお伝えしたいのは、就職活動において周囲と比べる必要はないということです。前年の傾向を見ても活動開始時期にかかわらず最終的な内定率は9割以上となっています。大切なのは「自分が志望している企業のスケジュール」を把握し、そのために必要なことができているかを確認すること。自分の志望する企業の活動状況を注視し、準備を進めていきましょう。 ※1 内々定を含む ※2 ()内数値は前年同月差

就職活動開始時期別 4月1日時点就職内定率

大学生_全体（大学生全体 内定率：就職志望者/単一回答）※大学院生除く
（就職活動開始時期別 内定率：就職志望者・就職活動経験者/単一回答）

| | | 大学生全体 内定率 | 就職活動開始時期別 内定率 | |
|------------|---------|-----------|-----------------------|------------------------|
| | | | 大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生 | 大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生 |
| 4月1日 時点 | ①2022年卒 | 28.1% | 38.2% | 13.6% |
| | ②2021年卒 | 31.3% | 38.5% | 23.1% |
| | ①-② | -3.2 | -0.3 | -9.5 |

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

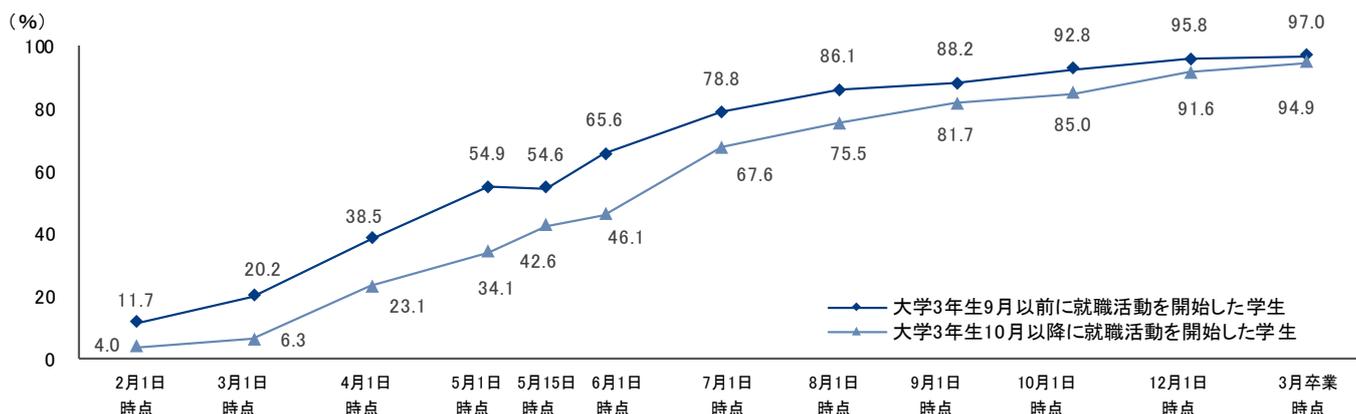
I. 2021年卒学生の就職内定率

就職活動が進行するほど、開始時期別の差は小さくなる傾向

- ・2020年4月1日時点での2021年卒就職内定率は、大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生は38.5%、大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生は23.1%と、差が見られた。
- ・2021年3月卒業時点では、大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生は97.0%、大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生は94.9%となり、就職活動開始時期別の差は小さくなった。

2021年卒 就職内定率（就職活動開始時期別）

大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/単一回答）※大学院生除く



※「就職内定率」の用語の定義は、8ページをご参照ください

II. 就職活動開始時期別の割合

大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生は約6割

・2022年卒で、大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生は59.9%、大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生は40.1%であった。

・2022年卒で、大学3年生9月以前に就職活動を開始した学生の割合は、大学生全体では前年同月差+2.1ポイントと微増であった。属性別に見ると、文系では増加し、理系では減少。地域別に見ると、関東・中部・近畿では増加し、その他地域では減少した。

就職活動開始時期別の割合

大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/単一回答）※大学院生除く

| | | 大学3年生9月以前に 就職活動を開始した学生 | 大学3年生10月以降に 就職活動を開始した学生 |
|-----|--------|---------------------------|----------------------------|
| 全体 | 2022年卒 | 59.9% | 40.1% |
| | 2021年卒 | 57.8% | 42.2% |
| | 前年同月差 | 2.1 | -2.1 |
| 文系 | 2022年卒 | 60.8% | 39.2% |
| | 2021年卒 | 56.7% | 43.3% |
| | 前年同月差 | 4.1 | -4.1 |
| 理系 | 2022年卒 | 57.9% | 42.1% |
| | 2021年卒 | 60.4% | 39.6% |
| | 前年同月差 | -2.5 | 2.5 |
| 男性 | 2022年卒 | 56.9% | 43.1% |
| | 2021年卒 | 61.1% | 38.9% |
| | 前年同月差 | -4.2 | 4.2 |
| 女性 | 2022年卒 | 63.0% | 37.0% |
| | 2021年卒 | 54.2% | 45.8% |
| | 前年同月差 | 8.8 | -8.8 |
| 関東 | 2022年卒 | 60.3% | 39.7% |
| | 2021年卒 | 56.5% | 43.5% |
| | 前年同月差 | 3.8 | -3.8 |
| 中部 | 2022年卒 | 62.6% | 37.4% |
| | 2021年卒 | 53.5% | 46.5% |
| | 前年同月差 | 9.1 | -9.1 |
| 近畿 | 2022年卒 | 63.9% | 36.1% |
| | 2021年卒 | 58.2% | 41.8% |
| | 前年同月差 | 5.7 | -5.7 |
| その他 | 2022年卒 | 53.5% | 46.5% |
| | 2021年卒 | 63.6% | 36.4% |
| | 前年同月差 | -10.1 | 10.1 |

※4月1日時点調査より

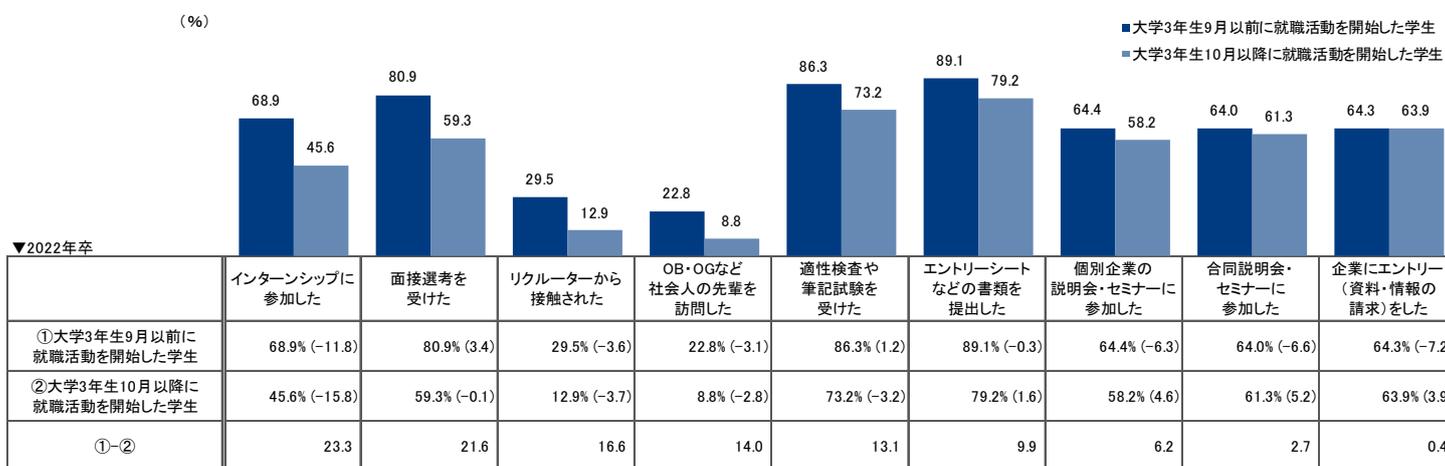
Ⅲ. 3月末までの各活動実施状況

就職活動開始時期によって各活動の実施率にも差が

- ・就職活動の開始時期別に各活動の実施率を見ると、2022年卒学生では「インターンシップに参加した」「面接選考を受けた」「リクレーターから接触された」などの活動で大きく差が見られた。
- ・各活動の実施率の前年同月差を見ると、「インターンシップに参加した」「リクレーターから接触された」などの活動で減少している様子が見られた。

3月末までの各活動実施率（2022年卒）

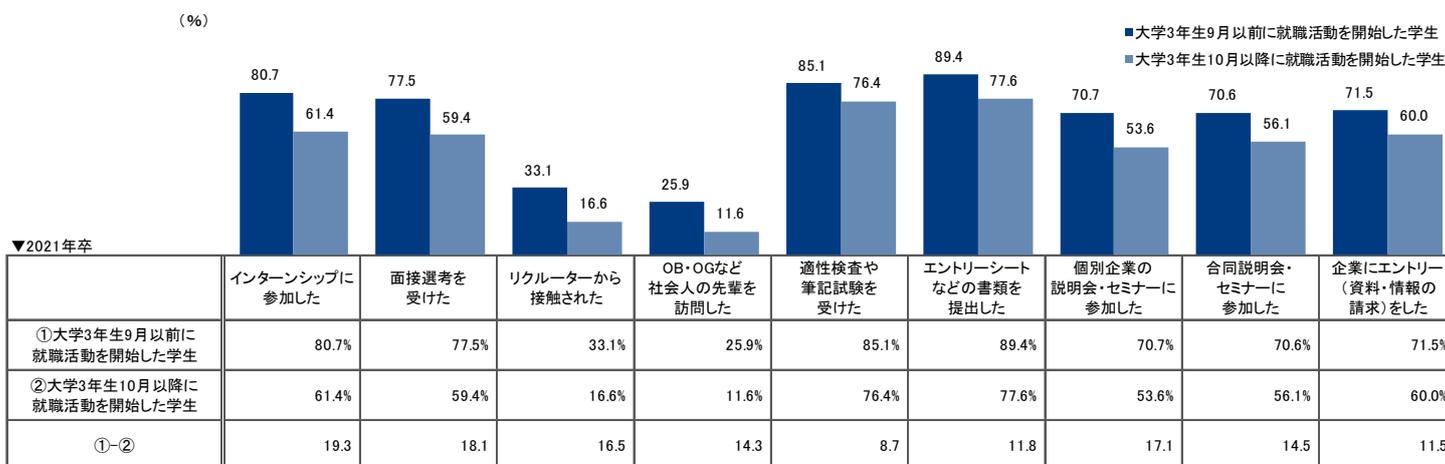
大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/複数回答）※大学院生除く



※()内数値は前年同月差

(参考) 3月末までの各活動実施率（2021年卒）

大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/複数回答）※大学院生除く



- ※「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」「大学以外で開催される合同説明会・セミナーに参加した」を「合同説明会・セミナーに参加した」にまとめて集計
- ※「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した」「個別企業の説明会・セミナーのうち、Web上で開催されるものに参加した」を「個別企業の説明会・セミナーに参加した」にまとめて集計
- ※「面接など対面での選考を受けた」「Web上での面接を受けた」を「面接選考を受けた」にまとめて集計

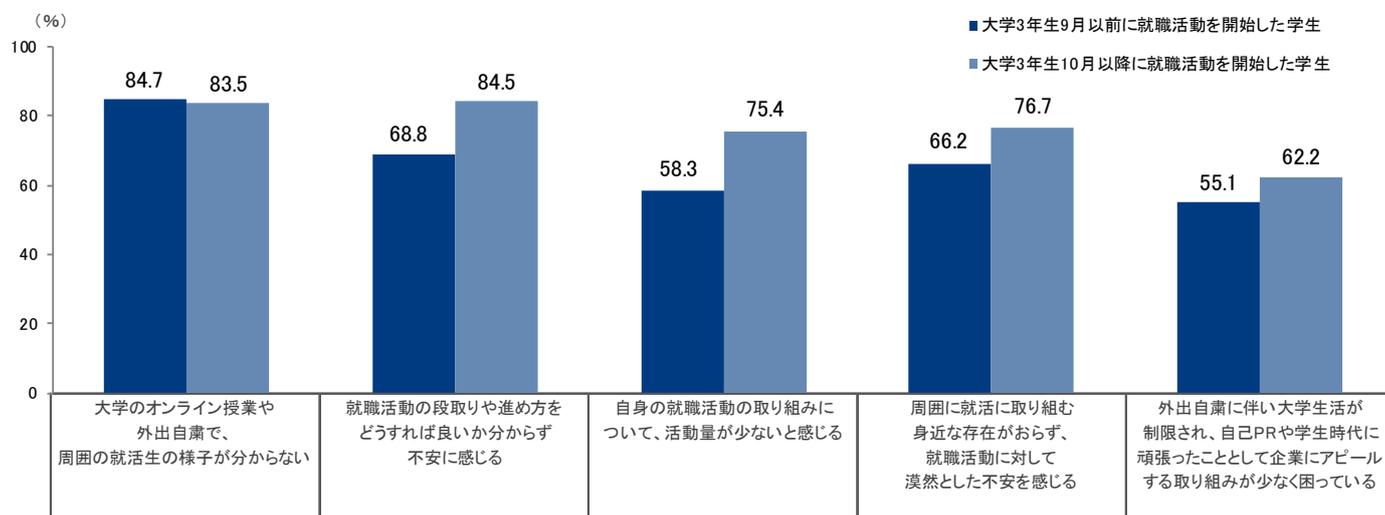
IV.就職活動に対する不安

就職活動開始時期にかかわらず「周囲の就活生の様子が分からない」不安が高い

- ・就職活動開始時期にかかわらず、「周囲の就活生の様子が分からない」と回答した学生は8割を超えた。
- ・就職活動開始時期別では、「就職活動の段取りや進め方をどうすれば良いか分からず不安を感じる」「自身の就職活動の取り組みについて、活動量が少ないと感じる」「周囲に就活に取り組む身近な存在がおらず、就職活動に対して漠然とした不安を感じる」の項目で大きく差が見られた。
- ・学生からは「コロナの影響で活動できなかったことがあり、想定していたものより自己PRが薄くなってしまった」「周りの状況が分からないからこそ、自分の就職活動が遅れているのか判断がしにくい」などの不安の声があった。

就職活動に対する不安

大学生_全体（就職志望者・就職活動経験者/単一回答）※大学院生除く



※各項目は「非常にそう思う」「まあそう思う」の回答をまとめて集計
※2021年3月11日時点調査より

就職活動をする中で、不安に感じること

大学生_全体（自由回答）※大学院生除く

| コメント | 文理・性別 |
|--|-------|
| コロナの影響で活動できなかったことがあり、想定していたものより自己PRが薄くなってしまった。 | 文系女性 |
| コロナでの採用減少がないかどうか。 | 文系男性 |
| コロナが流行ってるため県外で行われる対面の企業説明会に参加できないことで、実際の雰囲気がかみにくいこと。就活のために人の動きが盛んになってコロナに感染しないか不安。 | 理系女性 |
| コロナ禍で、みんながどう就職活動をしているのかが分からないこと。 | 理系男性 |
| 他の友達と比べて、自分の活動が遅れているように感じる場合があります。 | 文系女性 |
| 周りの状況が分からないからこそ、自分の就職活動が遅れているかの判断がしにくいことです。 | 文系女性 |
| 周りの友人の内定獲得率、コロナ禍による選考等の影響、体調管理。 | 文系女性 |

V.不安を感じる学生が参加を希望する支援プログラム

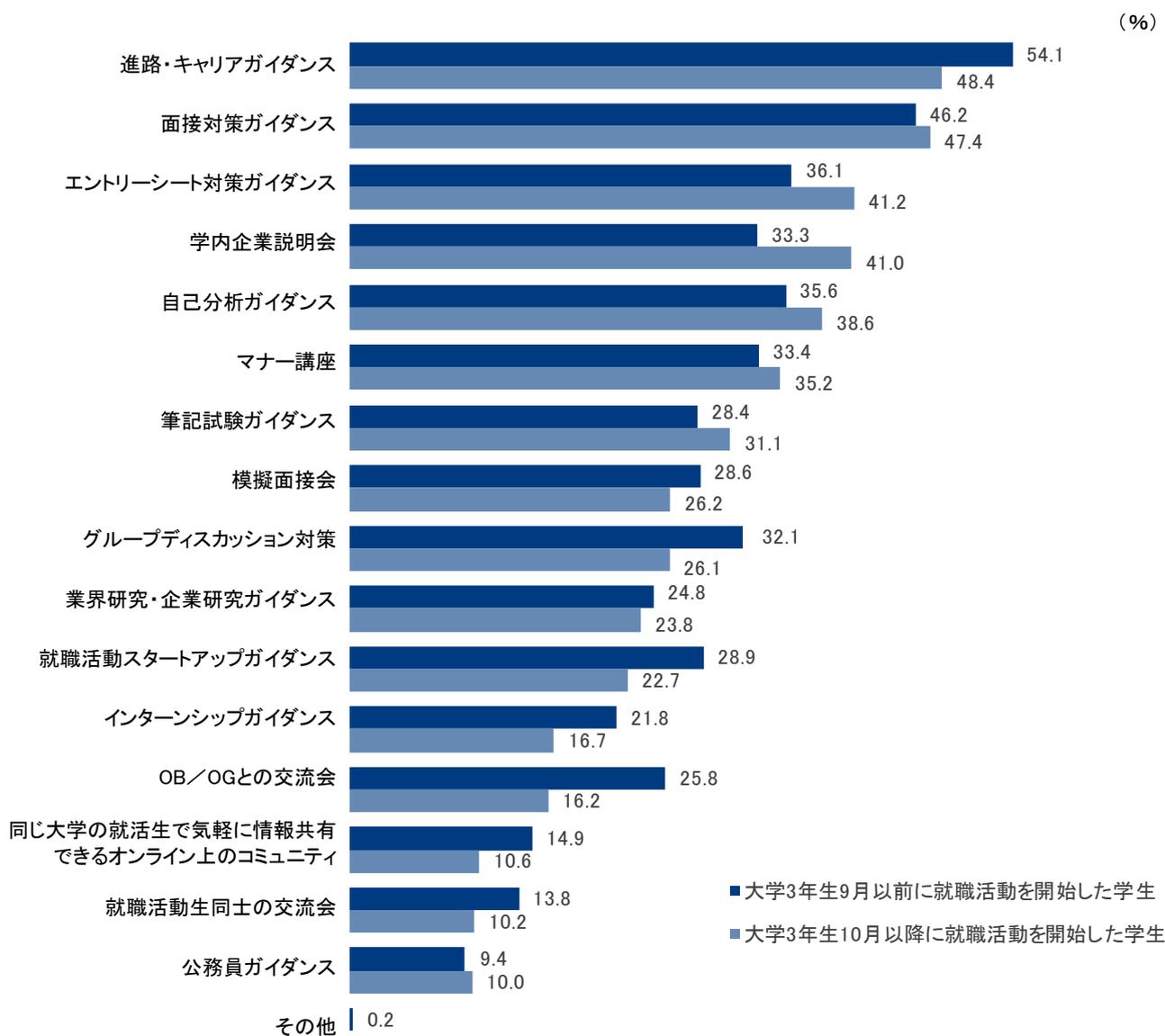
参加希望割合が高いのは「進路・キャリアガイダンス」「面接対策ガイダンス」

・「就職活動の段取りや進め方をどうすれば良いか分からず不安を感じる」に「非常にそう思う」「まあそう思う」と回答した学生は、就職活動開始時期にかかわらず2021年3月時点では「進路・キャリアガイダンス」「面接対策ガイダンス」の参加希望割合が高かった。

・大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生の参加希望割合は、「進路・キャリアガイダンス」「面接対策ガイダンス」「エントリーシート対策ガイダンス」「学内企業説明会」の順で高かった。

就職活動の進め方に不安を感じる学生が参加を希望する支援プログラム

大学生_（就職志望者・就職活動経験者・「就職活動の段取りや進め方をどうすれば良いか分からず不安を感じる」に「非常にそう思う」「まあそう思う」と回答した学生/複数回答）※大学院生除く



※「大学3年生10月以降に就職活動を開始した学生」の回答割合が高い順に掲載
※「あてはまるものがない」を除いて集計
※2021年3月11日時点調査より

調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近付けるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2022年卒：2021年4月1日時点

調査対象 | 2022年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2022』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生8,747人（内訳：大学生7,270人/大学院生1,477人）

調査期間 | 2021年4月1日～4月2日

集計対象 | 大学生 1,329人/大学院生 400人

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2022/>

2022年卒：2021年3月11日時点

調査対象 | 2022年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2022』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生5,663人（内訳：大学生4,658人/大学院生1,005人）

調査期間 | 2021年3月11日～3月15日

集計対象 | 大学生 1,215人/大学院生 360人

2021年卒：2021年3月度（卒業時点）

調査対象 | 2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,185人（内訳：大学生3,317人/大学院生868人）

調査期間 | 2021年3月15日～3月19日

集計対象 | 大学生 780人/大学院生 310人

2021年卒：2020年4月1日時点

調査対象 | 2021年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2021』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生3,942人（内訳：大学生3,094人/大学院生848人）

調査期間 | 2020年4月1日～4月6日

集計対象 | 大学生 914人/大学院生 372人

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者 + 志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

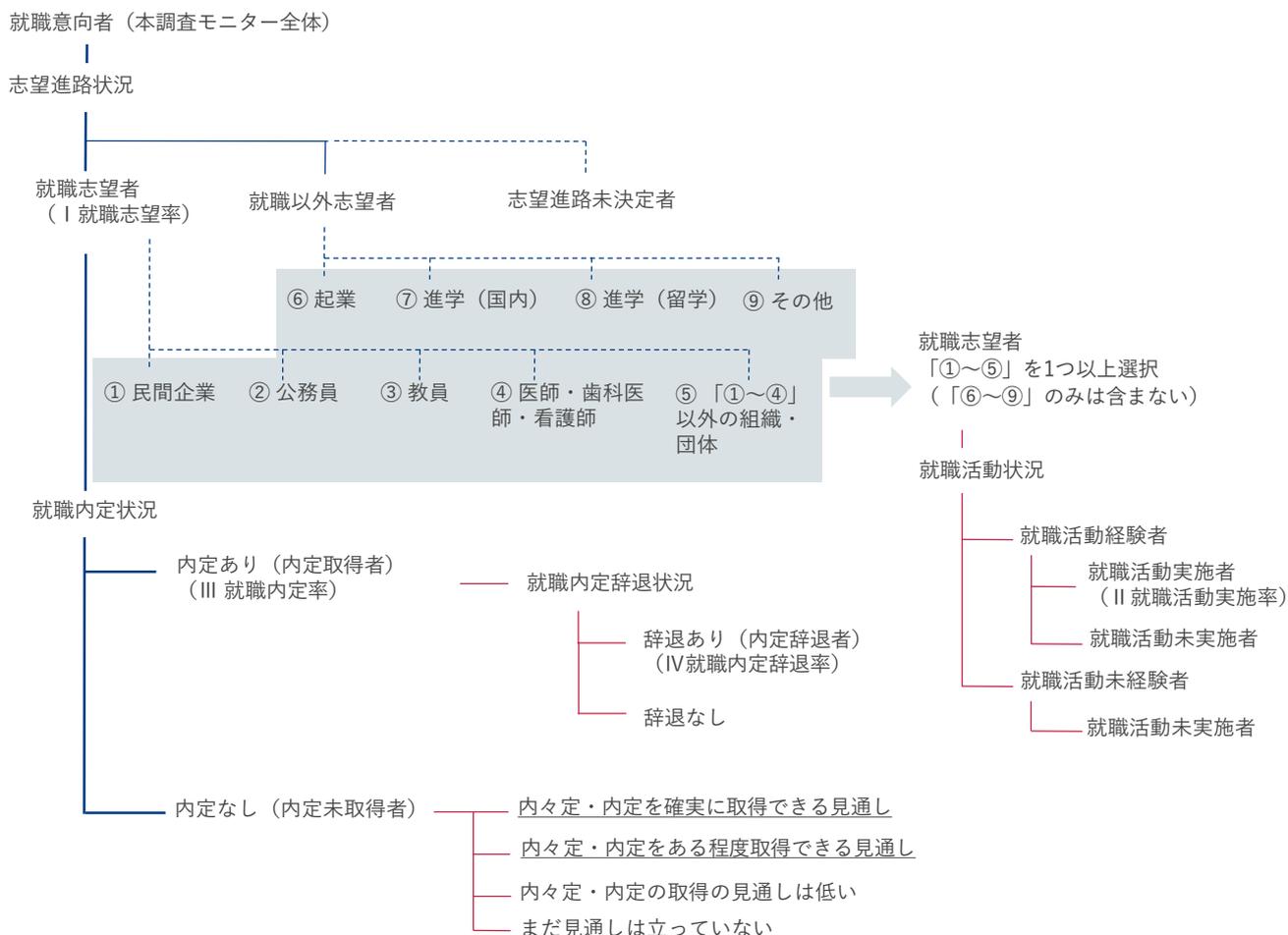
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2021年卒」を示す

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

| | | |
|------------|---|---------------------|
| I 就職志望率 | = | 就職志望人数 ÷ 就職意向人数 |
| II 就職活動実施率 | = | 就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数 |
| III 就職内定率 | = | 就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数 |
| IV 就職内定辞退率 | = | 就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数 |

<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

≪地域区分の内訳≫

- 関東 = 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部 = 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿 = 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域 = 「関東」「中部」「近畿」以外の地域

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者